



## CHAPTER 9

# Cisco Unity Connection 8.x サーバまたはハードディスクの交換

この章は、次の項で構成されています。

- 「Connection クラスタでない単一の Connection 8.x サーバまたは単一のサーバ内のハードディスクの交換」 (P.9-1)
- 「Connection 8.x クラスタ内のパブリッシャ サーバまたはパブリッシャ サーバのハードディスクの交換」 (P.9-2)
- 「Connection 8.x クラスタ内のサブスクリバ サーバまたはサブスクリバ サーバのハードディスクの交換」 (P.9-6)
- 「Connection 8.x クラスタ内のパブリッシャ サーバおよびサブスクリバ サーバ、または両方のサーバのハードディスクの交換」 (P.9-9)
- 「Cisco Voicemail Organization 内の Connection 8.x サイト ゲートウェイの置き換え」 (P.9-18)
- 「Connection 8.x サーバへの交換用ハードディスクの取り付け」 (P.9-18)



(注) 物理サーバを仮想マシンに置き換える場合は、「Cisco Unity Connection 物理サーバから Connection 8.x 仮想マシンへの移行」を参照してください。

## Connection クラスタでない単一の Connection 8.x サーバまたは単一のサーバ内のハードディスクの交換

単一の Connection 8.x サーバまたは単一の Connection 8.x サーバ内のハードディスクを正しく交換するには、この項の概略的なタスク リストを使用します。



(注) サイト内ネットワークが構成されている場合も、同じタスクを実行してください。データが復元されると、サイト内ネットワークは自動的に動作を再開します。

1. サブスクリバ サーバ内のハードディスクではなくサブスクリバ サーバ自体を交換する場合は、交換用サーバの MAC アドレスを含む交換用の Connection ライセンスを依頼します。詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html)) の「Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x」の章を参照してください。

2. Disaster Recovery System を使用して Connection サーバのバックアップを行います。『*Disaster Recovery System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/drs\\_administration/guide/8xcucdrsag.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/drs_administration/guide/8xcucdrsag.html)) を参照してください。
3. サーバをシャットダウンします。
4. サーバを交換する場合は、古いサーバからネットワーク ケーブルを取り外して新しいサーバに接続します。  
ハードディスクを交換する場合は、「[Connection 8.x サーバへの交換用ハードディスクの取り付け \(P.9-18\)](#)」の手順を実行します。
5. Connection を再インストールします。『*Installation Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html)) の「[Overview of Mandatory Tasks for Installing a Cisco Unity Connection 8.x System](#)」の章にある「[Task List for Installing a Cisco Unity Connection 8.x System \(Without a Connection Cluster\)](#)」の「Part 1: Installing and Configuring the Cisco Unity Connection Server」を参照してください。  
Connection を再インストールする場合は、次の点に注意してください。
  - サーバに以前インストールされていたものと同じソフトウェアおよび ES バージョンをインストールする必要があります。異なる場合、Disaster Recovery System による復元は失敗します。
  - 以前の値と同じホスト名および IP アドレスを指定する必要があります。異なる場合、Disaster Recovery System による復元は失敗します。
  - (ハードディスクだけでなく) サーバ自体を交換する場合のみ、タスク 1. で依頼した、交換用サーバの MAC アドレスを含む交換用ライセンスをインストールします。これを行わない場合、Connection は動作しません。
6. Disaster Recovery System を使用してデータを復元します。『*Disaster Recovery System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/drs\\_administration/guide/8xcucdrsag.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/drs_administration/guide/8xcucdrsag.html)) を参照してください。

## Connection 8.x クラスタ内のパブリッシャ サーバまたはパブリッシャ サーバのハードディスクの交換

サブスクリバ サーバを交換せずに、Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバまたはパブリッシャ サーバのハードディスクを交換できます。パブリッシャ サーバの機能停止中は、サブスクリバ サーバが Connection クラスタの機能をすべて処理し、システムに対するサービスが失われるのを防ぎます。

サーバまたはサーバ内のハードディスクを交換する場合、交換用のパブリッシャ サーバを設置する必要があります。サブスクリバ サーバをパブリッシャ サーバに変換することはできません (ハードディスクを交換する場合、サーバのすべてのソフトウェアを再インストールする必要があります。これにより、事実上交換用サーバを準備することになります)。交換用パブリッシャ サーバ上で、新しい Connection クラスタを構成します。サブスクリバ サーバを新しい Connection クラスタに接続すると、サブスクリバ サーバはデータを交換用パブリッシャ サーバにレプリケートします。システムに対するサービスが失われることはありません。交換用パブリッシャ サーバのステータスが [Primary] または [Secondary] である場合、コールの処理を再開します。

この項に含まれる、該当する手順を示された順序で実行します。

### 交換用ライセンスを依頼するには（パブリッシャ サーバを交換する場合のみ）

パブリッシャ サーバ内のハードディスクではなくパブリッシャ サーバ自体を交換する場合は、交換用サーバの MAC アドレスを含む交換用の Connection ライセンスを依頼します。詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』（[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html)）の「**Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x**」の章を参照してください。

### Connection サイトからクラスタを削除するには（サイト内ネットワーキングが構成されている場合のみ）

サイト内ネットワーキングを使用している場合、Connection サイトからサーバを削除します。手順については、『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』（[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html)）の「**Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 8.x**」の章を参照してください。

### サブスクリバ サーバのステータスを手動で [Primary] に変更するには

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Serviceability にログインします。
- ステップ 2** [Tools] メニューで [Cluster Management] を選択します。
- ステップ 3** [Cluster Management] ページの [Server Manager] でサブスクリバ サーバを見つけます。
- ステップ 4** サブスクリバ サーバのステータスが [Primary] の場合は、この手順の以降のステップを省略して次の手順に進みます。  
サブスクリバ サーバのステータスが [Secondary] の場合は、**ステップ 5** に進みます。  
サブスクリバのステータスが [Deactivated] の場合は、[Secondary] に変更します。
  - a. サブスクリバ サーバの [Change Server Status] カラムで [Activate] を選択します。
  - b. サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。
  - c. [Server Status] カラムでサブスクリバ サーバのステータスが [Secondary] になっていることを確認します。
- ステップ 5** サブスクリバ サーバの [Change Server Status] カラムで [Make Primary] を選択します。
- ステップ 6** サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。  
変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更されたステータスが表示されます。



**(注)** パブリッシャ サーバのステータスは自動的に [Secondary] に変更されます。

### パブリッシャ サーバのステータスを手動で [Secondary] から [Deactivated] に変更するには

- 
- ステップ 1** Real-Time Monitoring Tool (RTMT) にログインします。
- ステップ 2** [Cisco Unity Connection] メニューで [Port Monitor] を選択します。右側のペインに [Port Monitor] ツールが表示されます。
- ステップ 3** [Node] フィールドでパブリッシャ サーバを選択します。
- ステップ 4** 右側のペインで [Start Polling] を選択します。
- ステップ 5** ボイス メッセージ ポートがサーバのコールを処理中でないかどうか確認します。
- ステップ 6** Cisco Unity Connection Serviceability の [Cluster Management] ページに戻ります。
- ステップ 7** ボイス メッセージ ポートがパブリッシャ サーバのコールを処理中でない場合は、**ステップ 8** に進みます。パブリッシャ サーバのコールを処理しているボイス メッセージ ポートがある場合は、[Cluster Management] ページの [Change Port Status] でパブリッシャ サーバに対し [Stop Taking Calls] を選択して、パブリッシャ サーバのすべてのポートがアイドル状態であることが RTMT に表示されるのを待ちます。
- ステップ 8** [Server Manager] において、パブリッシャ サーバの [Change Server Status] カラムで [Deactivate] を選択します。
- ステップ 9** サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更されたサーバのステータスが表示されます。
- 

### 交換用のパブリッシャ サーバまたはハードディスクを導入するには

- 
- ステップ 1** パブリッシャ サーバをシャットダウンします。  
サブスクリバ サーバでは、Cisco Unity Connection Serviceability の [Cluster Management] ページの [Server Status] カラムでパブリッシャ サーバのステータスが [Not Functioning] であると表示されます。
- ステップ 2** パブリッシャ サーバを交換する場合は、古いパブリッシャ サーバからネットワーク ケーブルを取り外して新しいパブリッシャ サーバに接続します。  
ハードディスクを交換する場合は、「[Connection 8.x サーバへの交換用ハードディスクの取り付け \(P.9-18\)](#)」の手順を実行します。
- ステップ 3** Connection を再インストールします。『*Installation Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html)) の「[Overview of Mandatory Tasks for Installing a Cisco Unity Connection 8.x System](#)」の章にある「[Task List for Installing a Cisco Unity Connection 8.x System \(Without a Connection Cluster\)](#)」の「Part 1: Installing and Configuring the Cisco Unity Connection Server」の手順を実行します。

Connection を再インストールする場合は、次の点に注意してください。

- サブスクリバ サーバにインストールされているものと同じソフトウェアおよび ES バージョンをインストールする必要があります。異なる場合、Connection クラスタが正常に機能しない可能性があります。
- 交換するパブリッシャ サーバと同じホスト名を指定する必要があります。異なる場合、Connection クラスタは機能しなくなります。
- 交換するパブリッシャ サーバと同じセキュリティ パスワードを指定する必要があります。このパスワードは、サブスクリバ サーバのセキュリティ パスワードとも一致します。異なる場合、Connection クラスタは機能しなくなります。セキュリティ パスワードがわからない場合は、パブリッシャ サーバを設置する前に、サブスクリバ サーバ上で **set password user CLI** コマンドを使用してパスワードを変更できます。詳細については、該当するバージョンの『*Command Line*

*Interface Reference Guide for Cisco Unified Communications Solutions*』

([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html)) を参照してください。

- (ハードディスクだけでなく) サーバ自体を交換する場合のみ、交換用パブリッシャ サーバの MAC アドレスを含む交換用ライセンスをインストールします。これを行わない場合、Connection は動作しません。

---

### 交換用パブリッシャ サーバでクラスタを構成するには

---

- ステップ 1** パブリッシャ サーバで Cisco Unity Connection Administration にログインします。
  - ステップ 2** Cisco Unity Connection Administration で [システム設定 (System Settings)] を展開してから、[クラスタ (Cluster)] を選択します。
  - ステップ 3** [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ページで [新規追加 (Add New)] を選択します。
  - ステップ 4** [新規サーバ設定 (New Server Configuration)] ページの [ホスト名/IP アドレス (Hostname/IP Address)] フィールドにサブスクリイバ サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
  - ステップ 5** [説明 (Description)] フィールドにサブスクリイバ サーバの説明を入力します。
  - ステップ 6** [保存 (Save)] を選択します。
  - ステップ 7** Cisco Unity Connection Administration からログアウトします。
- 

### サブスクリイバ サーバを新しい Connection クラスタに接続し、データおよびメッセージをパブリッシャ サーバにレプリケートするには

---

- ステップ 1** サブスクリイバ サーバの Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) にログインします。
- ステップ 2** `utils cuc cluster renegotiate` CLI コマンドを実行します。



(注) CLI コマンドが完了すると、パブリッシャ サーバは自動的に再起動します。

---

- ステップ 3** サブスクリイバ サーバで `show cuc cluster status` CLI コマンドを実行して、新しい Connection クラスタが正しく構成されていることを確認します。
- 

### クラスタを Connection サイトに再度追加するには (サイト内ネットワーキングが構成されている場合のみ)

---

サイト内ネットワーキングを使用している場合、クラスタを Connection サイトに再度追加します。手順については、『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』

([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html)) の「Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 8.x」の章を参照してください。

---

# Connection 8.x クラスタ内のサブスクリバサーバまたはサブスクリバサーバのハードディスクの交換

Connection クラスタ内のサブスクリバサーバまたはサブスクリバサーバのハードディスクを交換できます。サブスクリバサーバの機能停止中は、パブリッシャサーバが Connection クラスタの機能をすべて処理し、システムに対するサービスが失われるのを防ぎます。

サーバまたはサーバ内のハードディスクを交換する場合、サブスクリバサーバを Connection クラスタから削除して交換用のサブスクリバサーバを追加します（ハードディスクを交換する場合、サーバのすべてのソフトウェアを再インストールする必要があります。これにより、事実上交換用サーバを準備することになります）。交換用サブスクリバサーバを設置すると、パブリッシャサーバはデータを交換用サブスクリバサーバにレプリケートします。システムに対するサービスが失われることはありません。交換用サブスクリバサーバのステータスが [Primary] または [Secondary] である場合、コールの処理を再開します。

サブスクリバサーバを交換する場合は、交換用サブスクリバサーバの MAC アドレスを含む交換用の Connection ライセンスを依頼する必要があります。詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』

([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html)) の「[Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

この項に含まれる、該当する手順を示された順序で実行します。

## 交換用ライセンスを依頼するには（サブスクリバサーバを交換する場合のみ）

サブスクリバサーバ内のハードディスクではなくサブスクリバサーバ自体を交換する場合は、交換用サーバの MAC アドレスを含む交換用の Connection ライセンスを依頼します。詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』

([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html)) の「[Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

## パブリッシャサーバのステータスを手動で [Primary] に変更するには

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Serviceability にログインします。
- ステップ 2** [Tools] メニューで [Cluster Management] を選択します。
- ステップ 3** [Cluster Management] ページの [Server Manager] でパブリッシャサーバを見つけます。
- ステップ 4**

パブリッシャサーバのステータスが [Primary] の場合は、この手順の以降のステップを省略して次の手順に進みます。

パブリッシャサーバのステータスが [Secondary] の場合は、[ステップ 5](#)に進みます。

パブリッシャのステータスが [Deactivated] の場合は、[Secondary] に変更します。

  - a. パブリッシャサーバの [Change Server Status] カラムで [Activate] を選択します。
  - b. サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。
  - c. [Server Status] カラムでパブリッシャサーバのステータスが [Secondary] になっていることを確認します。
- ステップ 5** パブリッシャサーバの [Change Server Status] カラムで [Make Primary] を選択します。
- ステップ 6** サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。

変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更されたステータスが表示されます。



(注) サブスクリバサーバのステータスは自動的に [Secondary] に変更されます。

### サブスクリバサーバのステータスを手動で [Secondary] から [Deactivated] に変更するには

- ステップ 1** Real-Time Monitoring Tool (RTMT) にログインします。
- ステップ 2** [Cisco Unity Connection] メニューで [Port Monitor] を選択します。右側のペインに [Port Monitor] ツールが表示されます。
- ステップ 3** [Node] フィールドでサブスクリバサーバを選択します。
- ステップ 4** 右側のペインで [Start Polling] を選択します。
- ステップ 5** ボイスメッセージポートがサーバのコールを処理中でないかどうか確認します。
- ステップ 6** Cisco Unity Connection Serviceability の [Cluster Management] ページに戻ります。
- ステップ 7** ボイスメッセージポートがサーバのコールを処理中でない場合は、[ステップ 8](#) に進みます。  
サブスクリバサーバのコールを処理しているボイスメッセージポートがある場合は、[Cluster Management] ページの [Change Port Status] でサブスクリバサーバに対し [Stop Taking Calls] を選択して、サーバのすべてのポートがアイドル状態であることが RTMT に表示されるのを待ちます。
- ステップ 8** [Server Manager] において、サブスクリバサーバの [Change Server Status] カラムで [Deactivate] を選択します。
- ステップ 9** サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。  
変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更されたサーバのステータスが表示されます。

### 交換用のサブスクリバサーバまたはハードディスクを導入するには

- ステップ 1** サブスクリバサーバをシャットダウンします。  
パブリッシュサーバでは、Cisco Unity Connection Serviceability の [Cluster Management] ページの [Server Status] カラムでサブスクリバサーバのステータスが [Not Functioning] であると表示されません。
- ステップ 2** サブスクリバサーバを交換する場合は、古いサブスクリバサーバからネットワークケーブルを取り外して新しいサブスクリバサーバに接続します。  
ハードディスクを交換する場合は、「[Connection 8.x サーバへの交換用ハードディスクの取り付け \(P.9-18\)](#)」の手順を実行します。
- ステップ 3** 『*Installation Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html)) の「[Overview of Mandatory Tasks for Installing a Cisco Unity Connection 8.x System](#)」の章にある「[Task List for Installing a Cisco Unity Connection 8.x system with a Connection Cluster Configured](#)」の「[Part 3: Configuring the Cluster, and Installing and Configuring the Subscriber Connection Server](#)」の手順を実行します。  
Connection を再インストールする場合は、次の点に注意してください。

- パブリッシャ サーバにインストールされているものと同じソフトウェアおよび ES バージョンをインストールする必要があります。異なる場合、Connection クラスタが正常に機能しない可能性があります。
- 交換するサブスクリバ サーバと同じセキュリティ パスワードを指定する必要があります。このパスワードは、パブリッシャ サーバのセキュリティ パスワードとも一致します。異なる場合、Connection クラスタは機能しなくなります。セキュリティ パスワードがわからない場合は、サブスクリバ サーバを設置する前に、パブリッシャ サーバ上で **set password user** CLI コマンドを使用してパスワードを変更できます。詳細については、該当するバージョンの『*Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Communications Solutions*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html)) を参照してください。
- (ハードディスクだけでなく) サーバ自体を交換する場合のみ、交換用サブスクリバ サーバの MAC アドレスを含む交換用ライセンスをインストールする必要があります。これを行わない場合、Connection は動作しません。

---

### パブリッシャ サーバの Connection Administration でサブスクリバ サーバのホスト名または IP アドレスを変更するには (サブスクリバ サーバのホスト名または IP アドレスを変更した場合のみ)

---

- ステップ 1** 交換用サブスクリバ サーバのホスト名または IP アドレスが元のサブスクリバ サーバと同じ場合は、この手順の以降のステップを省略して次の手順に進みます。
- 交換用サブスクリバ サーバのホスト名または IP アドレスが異なる場合は、パブリッシャ サーバで Cisco Unity Connection Administration にログインします。
- ステップ 2** Cisco Unity Connection Administration で [システム設定 (System Settings)] を展開してから、[クラスタ (Cluster)] を選択します。
- ステップ 3** [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ページで [検索 (Find)] を選択して、クラスタ内のすべてのサーバを表示します。
- ステップ 4** サブスクリバ サーバの前のチェックボックスをオンにして [選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。
- ステップ 5** サーバの削除の確認を求められたら、[OK] を選択します。
- ステップ 6** [新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 7** [新規サーバ設定 (New Server Configuration)] ページの [ホスト名/IP アドレス (Hostname/IP Address)] フィールドに交換用サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- ステップ 8** [説明 (Description)] フィールドに「**Server 2**」などのサーバの説明を入力します。
- ステップ 9** [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 10** Cisco Unity Connection Administration からログアウトします。
- 

### Connection クラスタが構成されているかを確認するには

---

- ステップ 1** サブスクリバ サーバの Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) にログインします。
- ステップ 2** **show cuc cluster status** CLI コマンドを実行します。
-



# Connection 8.x クラスタ内のパブリッシャサーバおよびサブスクリバサーバ、または両方のサーバのハードディスクの交換

次の該当する項を参照してください。

- 「交換前の両方の Connection 8.x サーバが使用可能であり、正常に機能している場合」 (P.9-9)
- 「交換前の Connection 8.x サーバがどちらも機能していない場合」 (P.9-15)

## 交換前の両方の Connection 8.x サーバが使用可能であり、正常に機能している場合

Connection クラスタ内のパブリッシャサーバおよびサブスクリバサーバの両方が使用可能であり、正常に機能している場合は、段階的なプロセスを踏むことで、両方のサーバまたは両方のサーバ内のハードディスクを交換できます。

- 一方のサーバの交換中は、もう一方のサーバが Connection クラスタの機能をすべて処理し、システムに対するサービスが失われるのを防ぎます。
- それぞれの交換用サーバが設置されると、もう一方のサーバがデータを交換用サーバにレプリケートします。

この項に含まれる、該当する手順を示された順序で実行します。

### 交換用ライセンスを依頼するには（両方のサーバを交換する場合のみ）

---

サーバ内のハードディスクではなく両方のサーバ自体を交換する場合は、交換用サーバの MAC アドレスを含む交換用の Connection ライセンスを依頼します。詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』

([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html)) の「**Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x**」の章を参照してください。

---

### Connection サイトからクラスタを削除するには（サイト内ネットワーキングが構成されている場合のみ）

---

サイト内ネットワーキングを使用している場合、Connection サイトからクラスタを削除します。手順については、『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』

([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html)) の「**Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 8.x**」の章を参照してください。

---

### パブリッシャ サーバのステータスを手動で [Primary] に変更するには

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Serviceability にログインします。
- ステップ 2** [Tools] メニューで [Cluster Management] を選択します。
- ステップ 3** [Cluster Management] ページの [Server Manager] でパブリッシャ サーバを見つけます。
- ステップ 4** パブリッシャ サーバのステータスが [Primary] の場合は、この手順の以降のステップを省略して次の手順に進みます。
- パブリッシャ サーバのステータスが [Secondary] の場合は、[ステップ 5](#) に進みます。
- パブリッシャのステータスが [Deactivated] の場合は、[Secondary] に変更します。
- a. パブリッシャ サーバの [Change Server Status] カラムで [Activate] を選択します。
  - b. サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。
  - c. [Server Status] カラムでパブリッシャ サーバのステータスが [Secondary] になっていることを確認します。
- ステップ 5** パブリッシャ サーバの [Change Server Status] カラムで [Make Primary] を選択します。
- ステップ 6** サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。
- 変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更されたステータスが表示されます。



**(注)** サブスクライバ サーバのステータスは自動的に [Secondary] に変更されます。

### サブスクライバ サーバのステータスを手動で [Secondary] から [Deactivated] に変更するには

- 
- ステップ 1** Real-Time Monitoring Tool (RTMT) にログインします。
- ステップ 2** [Cisco Unity Connection] メニューで [Port Monitor] を選択します。右側のペインに [Port Monitor] ツールが表示されます。
- ステップ 3** [Node] フィールドでサブスクライバ サーバを選択します。
- ステップ 4** 右側のペインで [Start Polling] を選択します。
- ステップ 5** ボイス メッセージ ポートがサーバのコールを処理中でないかどうか確認します。
- ステップ 6** Cisco Unity Connection Serviceability の [Cluster Management] ページに戻ります。
- ステップ 7** ボイス メッセージ ポートがサーバのコールを処理中でない場合は、[ステップ 8](#) に進みます。
- サブスクライバ サーバのコールを処理しているボイス メッセージ ポートがある場合は、[Cluster Management] ページの [Change Port Status] でサブスクライバ サーバに対し [Stop Taking Calls] を選択して、サーバのすべてのポートがアイドル状態であることが RTMT に表示されるのを待ちます。
- ステップ 8** [Server Manager] において、サブスクライバ サーバの [Change Server Status] カラムで [Deactivate] を選択します。
- ステップ 9** サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。
- 変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更されたサーバのステータスが表示されます。
-

### 交換用のサブスクリバ サーバまたはハードディスクを導入するには

- ステップ 1** サブスクリバ サーバをシャットダウンします。
- パブリッシャ サーバでは、Cisco Unity Connection Serviceability の [Cluster Management] ページの [Server Status] カラムでサブスクリバ サーバのステータスが [Not Functioning] であると表示されます。
- ステップ 2** サブスクリバ サーバを交換する場合は、古いサブスクリバ サーバからネットワーク ケーブルを取り外して新しいサブスクリバ サーバに接続します。
- ハードディスクを交換する場合は、「[Connection 8.x サーバへの交換用ハードディスクの取り付け \(P.9-18\)](#)」の手順を実行します。
- ステップ 3** 『[Installation Guide for Cisco Unity Connection](#)』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html)) の「[Overview of Mandatory Tasks for Installing a Cisco Unity Connection 8.x System](#)」の章にある「[Task List for Installing a Cisco Unity Connection 8.x system with a Connection Cluster Configured](#)」の「[Part 3: Configuring the Cluster, and Installing and Configuring the Subscriber Connection Server](#)」の手順を実行します。
- Connection を再インストールする場合は、次の点に注意してください。
- パブリッシャ サーバにインストールされているものと同じソフトウェアおよび ES バージョンをインストールする必要があります。異なる場合、Connection クラスタが正常に機能しない可能性があります。
  - 交換するサブスクリバ サーバと同じセキュリティ パスワードを指定する必要があります。このパスワードは、パブリッシャ サーバのセキュリティ パスワードとも一致します。異なる場合、Connection クラスタは機能しなくなります。セキュリティ パスワードがわからない場合は、サブスクリバ サーバを設置する前に、パブリッシャ サーバ上で **set password user CLI** コマンドを使用してパスワードを変更できます。詳細については、該当するバージョンの『[Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Communications Solutions](#)』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html)) を参照してください。
  - (ハードディスクだけでなく) サーバ自体を交換する場合のみ、交換用サブスクリバ サーバの MAC アドレスを含む交換用ライセンスをインストールする必要があります。これを行わない場合、Connection は動作しません。

### パブリッシャ サーバの Connection Administration でサブスクリバ サーバのホスト名または IP アドレスを変更するには (サブスクリバ サーバのホスト名または IP アドレスを変更した場合のみ)

- ステップ 1** Connection の再インストール時に元のサブスクリバ サーバと同じホスト名および IP アドレスを指定した場合は、この手順を省略して次の手順に進みます。
- 交換用サブスクリバ サーバのホスト名または IP アドレスが異なる場合は、パブリッシャ サーバで Cisco Unity Connection Administration にログインします。
- ステップ 2** Cisco Unity Connection Administration で [システム設定 (System Settings)] を展開してから、[クラスタ (Cluster)] を選択します。
- ステップ 3** [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ページで [検索 (Find)] を選択して、クラスタ内のすべてのサーバを表示します。
- ステップ 4** サブスクリバ サーバの前のチェックボックスをオンにして [選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。

- ステップ 5 サーバの削除の確認を求められたら、[OK] を選択します。
- ステップ 6 [新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 7 [新規サーバ設定 (New Server Configuration)] ページの [ホスト名/IP アドレス (Hostname/IP Address)] フィールドに交換用サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- ステップ 8 [説明 (Description)] フィールドに「**Server 2**」などのサーバの説明を入力します。
- ステップ 9 [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 10 Cisco Unity Connection Administration からログアウトします。

### Connection クラスタが交換用サブスクリバサーバで構成されているかを確認するには

- ステップ 1 サブスクリバサーバの Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) にログインします。
- ステップ 2 **show cuc cluster status** CLI コマンドを実行します。

### サブスクリバサーバのステータスを手動で [Primary] に変更するには

- ステップ 1 Cisco Unity Connection Serviceability にログインします。
- ステップ 2 [Tools] メニューで [Cluster Management] を選択します。
- ステップ 3 [Cluster Management] ページの [Server Manager] でサブスクリバサーバを見つけます。
- ステップ 4 サブスクリバサーバのステータスが [Primary] の場合は、この手順の以降のステップを省略して次の手順に進みます。サブスクリバサーバのステータスが [Secondary] の場合、サブスクリバサーバの [Change Server Status] カラムで [Make Primary] を選択します。
- ステップ 5 サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。  
変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更されたステータスが表示されます。



(注) パブリッシャサーバのステータスは自動的に [Secondary] に変更されます。

### パブリッシャサーバのステータスを手動で [Secondary] から [Deactivated] に変更するには

- ステップ 1 Real-Time Monitoring Tool (RTMT) にログインします。
- ステップ 2 [Cisco Unity Connection] メニューで [Port Monitor] を選択します。右側のペインに [Port Monitor] ツールが表示されます。
- ステップ 3 [Node] フィールドでパブリッシャサーバを選択します。
- ステップ 4 右側のペインで [Start Polling] を選択します。
- ステップ 5 ボイス メッセージ ポートがサーバのコールを処理中でないかどうか確認します。
- ステップ 6 Cisco Unity Connection Serviceability の [Cluster Management] ページに戻ります。
- ステップ 7 ボイス メッセージ ポートがパブリッシャサーバのコールを処理中でない場合は、[ステップ 8](#) に進みます。

パブリッシャ サーバのコールを処理しているボイス メッセージ ポートがある場合は、[Cluster Management] ページの [Change Port Status] でパブリッシャ サーバに対し [Stop Taking Calls] を選択して、パブリッシャ サーバのすべてのポートがアイドル状態であることが RTMT に表示されるのを待ちます。

- ステップ 8** [Server Manager] において、パブリッシャ サーバの [Change Server Status] カラムで [Deactivate] を選択します。
- ステップ 9** サーバのステータス変更の確認を求められたら、[OK] を選択します。  
変更が完了すると、[Server Status] カラムに変更されたサーバのステータスが表示されます。


### 交換用のパブリッシャ サーバまたはハードディスクを導入するには

- ステップ 1** パブリッシャ サーバをシャットダウンします。  
[Cluster Management] ページの [Server Status] カラムでパブリッシャ サーバのステータスが [Not Functioning] であると表示されます。
- ステップ 2** パブリッシャ サーバを交換する場合は、古いパブリッシャ サーバからネットワーク ケーブルを取り外して新しいパブリッシャ サーバに接続します。  
ハードディスクを交換する場合は、「[Connection 8.x サーバへの交換用ハードディスクの取り付け \(P.9-18\)](#)」の手順を実行します。
- ステップ 3** Connection を再インストールします。『*Installation Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html)) の「[Overview of Mandatory Tasks for Installing a Cisco Unity Connection 8.x System](#)」の章にある「[Task List for Installing a Cisco Unity Connection 8.x System \(Without a Connection Cluster\)](#)」の「Part 1: Installing and Configuring the Cisco Unity Connection Server」の手順を実行します。  
Connection を再インストールする場合は、次の点に注意してください。
- サブスクリバ サーバにインストールされているものと同じソフトウェアおよび ES バージョンをインストールする必要があります。異なる場合、Connection クラスタが正常に機能しない可能性があります。
  - 交換するパブリッシャ サーバと同じホスト名を指定する必要があります。異なる場合、Connection クラスタは機能しなくなります。
  - 交換するパブリッシャ サーバと同じセキュリティ パスワードを指定する必要があります。このパスワードは、サブスクリバ サーバのセキュリティ パスワードとも一致します。異なる場合、Connection クラスタは機能しなくなります。セキュリティ パスワードがわからない場合は、パブリッシャ サーバを設置する前に、サブスクリバ サーバ上で **set password user** CLI コマンドを使用してパスワードを変更できます。詳細については、該当するバージョンの『*Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Communications Solutions*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html)) を参照してください。
  - (ハードディスクだけでなく) サーバ自体を交換する場合のみ、交換用パブリッシャ サーバの MAC アドレスを含む交換用ライセンスをインストールする必要があります。これを行わない場合、Connection は動作しません。

### 交換用パブリッシャ サーバでクラスタを構成するには

- 
- ステップ 1 パブリッシャ サーバで Cisco Unity Connection Administration にログインします。
  - ステップ 2 Cisco Unity Connection Administration で [システム設定 (System Settings)] を展開してから、[クラスタ (Cluster)] を選択します。
  - ステップ 3 [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ページで [新規追加 (Add New)] を選択します。
  - ステップ 4 [新規サーバ設定 (New Server Configuration)] ページの [ホスト名/IP アドレス (Hostname/IP Address)] フィールドにサブスライバサーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
  - ステップ 5 [説明 (Description)] フィールドに「**Server 2**」などのサーバの説明を入力します。
  - ステップ 6 [保存 (Save)] を選択します。
  - ステップ 7 Cisco Unity Connection Administration からログアウトします。
- 

### サブスライバサーバを新しい Connection クラスタに接続し、データおよびメッセージをパブリッシャ サーバにレプリケートするには

- 
- ステップ 1 サブスライバサーバの Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) にログインします。
  - ステップ 2 `utils cuc cluster renegotiate` CLI コマンドを実行します。
-  (注) CLI コマンドが完了すると、パブリッシャ サーバは自動的に再起動します。
- 
- ステップ 3 `show cuc cluster status` CLI コマンドを実行して、新しい Connection クラスタが正しく構成されていることを確認します。
- 

### クラスタを Connection サイトに再度追加するには (サイト内ネットワーキングが構成されている場合のみ)

サイト内ネットワーキングを使用している場合、クラスタを Connection サイトに再度追加します。手順については、『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html)) の「[Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

---

## 交換前の Connection 8.x サーバがどちらも機能していない場合

Connection クラスタのパブリッシャ サーバもサブスクリバ サーバも機能しておらず、Connection データの復元に使用できる Disaster Recovery System バックアップがある場合は、両方のサーバまたは両方のサーバのハードディスクを同時に交換できます。このプロセスの間は、Connection クラスタはコールの応答はできません。

交換用パブリッシャ サーバを設置し、Disaster Recovery System を使用してバックアップ Connection データを復元します。その後、交換用サブスクリバ サーバを設置し、Connection によってパブリッシャ サーバからサブスクリバ サーバにデータをコピーします。コピーが完了すると、2 つのサーバ間のレプリケーションが再開されます。交換用サーバのステータスが [Primary] または [Secondary] である場合、コールの処理を行います。

この項に含まれる、該当する手順を示された順序で実行します。

### 交換用ライセンスを依頼するには（両方のサーバを交換する場合のみ）

サーバ内のハードディスクではなく両方のサーバ自体を交換する場合は、交換用サーバの MAC アドレスを含む交換用の Connection ライセンスを依頼します。詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』

([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html)) の「[Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

### 交換用のパブリッシャ サーバまたはハードディスクを導入するには

**ステップ 1** パブリッシャ サーバをシャットダウンします。

**ステップ 2** パブリッシャ サーバを交換する場合は、古いパブリッシャ サーバからネットワーク ケーブルを取り外して新しいパブリッシャ サーバに接続します。





ハードディスクを交換する場合は、「[Connection 8.x サーバへの交換用ハードディスクの取り付け \(P.9-18\)](#)」の手順を実行します。

**ステップ 3** Connection を再インストールします。『*Installation Guide for Cisco Unity Connection*』([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html)) の「[Overview of Mandatory Tasks for Installing a Cisco Unity Connection 8.x System](#)」の章にある「[Task List for Installing a Cisco Unity Connection 8.x System \(Without a Connection Cluster\)](#)」の「Part 1: Installing and Configuring the Cisco Unity Connection Server」の手順を実行します。

Connection を再インストールする場合は、次の点に注意してください。

- パブリッシャ サーバに以前インストールされていたものと同じソフトウェアおよび ES バージョンをインストールする必要があります。異なる場合、Disaster Recovery System による復元は失敗します。
- 以前のパブリッシャ サーバの値と同じホスト名および IP アドレスを指定する必要があります。異なる場合、Disaster Recovery System による復元は失敗します。
- (ハードディスクだけでなく) サーバ自体を交換する場合のみ、交換用パブリッシャ サーバの MAC アドレスを含む交換用ライセンスをインストールします。これを行わない場合、Connection は動作しません。

### バックアップデータを交換用パブリッシャサーバまたはハードディスクに復元するには

- ステップ 1** Disaster Recovery System にログインします。
- ステップ 2** [復元 (Restore)] メニューで [復元ウィザード (Restore Wizard)] を選択します。
- ステップ 3** [ステップ 1 復元: バックアップ デバイスの選択 (Step 1 Restore—Choose Backup Device)] ページの [デバイス名 (Device Name)] フィールドで、復元に使用するバックアップ デバイスの名前を選択し、[次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 4** [ステップ 2 復元: バックアップ Tar ファイルの選択 (Step 2 Restore—Choose the Backup Tar File)] ページの [バックアップ ファイルの選択 (Select Backup File)] フィールドで復元するバックアップ ファイルを選択し、[次へ (Next)] を選択します。
-  **(注)** バックアップ ファイル名は、システムがバックアップ ファイルを作成した日時を示します。
- ステップ 5** [ステップ 3 復元: 復元タイプの選択 (Step 3 Restore—Select the Type of Restore)] ページの [特殊機能 (Special Features)] で、復元する機能のチェックボックスをオンにして [次へ (Next)] を選択します。
-  **(注)** 選択したファイルにバックアップされていた機能のみがページに表示されます。
- ステップ 6** [ステップ 4 復元: 復元前の警告 (Step 4 Restore—Final Warning for Restore)] ページの [サーバの選択 (Select the Server)] フィールドでパブリッシャ サーバを選択し、[復元 (Restore)] を選択します。
-  **注意** パブリッシャ サーバの IP アドレスおよびホスト名は、Disaster Recovery System でデータをバックアップしたサーバと同じものである必要があります。異なる場合、Disaster Recovery System はデータを復元できません。
-  **(注)** 復元プロセス中は、Connection Administration による作業を実行しないでください。
- ステップ 7** 復元ステータスが 100% になったら、パブリッシャ サーバを再起動します。

### 交換用のサブスクリバサーバまたはハードディスクを導入するには

- ステップ 1** サブスクリバサーバをシャットダウンします。
- ステップ 2** サブスクリバサーバを交換する場合は、古いサブスクリバサーバからネットワーク ケーブルを取り外して新しいサブスクリバサーバに接続します。
- ハードディスクを交換する場合は、「[Connection 8.x サーバへの交換用ハードディスクの取り付け \(P.9-18\)](#)」の手順を実行します。
- ステップ 3** Connection を再インストールします。『*Installation Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/installation/guide/8xcucigx.html)) の「[Overview of Mandatory Tasks for Installing a Cisco Unity Connection 8.x System](#)」の章にある「[Task List for Installing a Cisco Unity Connection 8.x system with a Connection Cluster Configured](#)」の「Part 3: Configuring the Cluster, and Installing and Configuring the Subscriber Connection Server」の手順を実行します。



Connection を再インストールする場合は、次の点に注意してください。

- パブリッシャ サーバにインストールされているものと同じソフトウェアおよび ES バージョンをインストールする必要があります。異なる場合、Connection クラスタが正常に機能しない可能性があります。
- パブリッシャ サーバと同じセキュリティ パスワードを指定する必要があります。異なる場合、Connection クラスタは機能しなくなります。セキュリティ パスワードがわからない場合は、サブスクリバ サーバを設置する前に、パブリッシャ サーバ上で **set password user CLI** コマンドを使用してパスワードを変更できます。詳細については、該当するバージョンの『*Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Communications Solutions*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html)) を参照してください。
- (ハードディスクだけでなく) サーバ自体を交換する場合のみ、交換用サブスクリバ サーバの MAC アドレスを含む交換用ライセンスをインストールする必要があります。これを行わない場合、Connection は動作しません。

---

### パブリッシャ サーバからサブスクリバ サーバにデータをコピーするには

---

- ステップ 1** サブスクリバ サーバの Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) にログインします。
  - ステップ 2** **utils cuc cluster overwrittenb** CLI コマンドを実行し、Connection によってパブリッシャ サーバからサブスクリバ サーバにデータをコピーします。
  - ステップ 3** **show cuc cluster status** CLI コマンドを実行して、新しい Connection クラスタがサブスクリバ サーバで正しく構成されていることを確認します。
  - ステップ 4** パブリッシャ サーバの CLI にログインします。
  - ステップ 5** **show cuc cluster status** CLI コマンドを実行して、新しい Connection クラスタがパブリッシャ サーバで正しく構成されていることを確認します。
- 

### 各電話システムで MWI を同期するには

---

- ステップ 1** オフピーク時に、Connection クラスタ内のどちらかのサーバにログインします。
  - ステップ 2** Connection Administration で [テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開してから、[電話システム (Phone System)] を選択します。
  - ステップ 3** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、1 番めの電話システムの名前を選択します。
  - ステップ 4** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページの [メッセージ受信インジケータ (Messaging Waiting Indicators)] で、[実行 (Run)] を選択します。
  - ステップ 5** [次へ (Next)] を選択します。
  - ステップ 6** 残りの電話システムについて、**ステップ 4** および**ステップ 5** を繰り返します。
-

# Cisco Voicemail Organization 内の Connection 8.x サイト ゲートウェイの置き換え

Connection ネットワーキングが設定されている場合の Connection サイト ゲートウェイの置き換えについては、『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html)) の「[Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Making Changes to a Connection Site Gateway](#)」を参照してください。

## Connection 8.x サーバへの交換用ハードディスクの取り付け

この項の手順を使用して、インストールまたはアップグレードの一部としてサーバ内のすべてのハードディスクを空のディスクと交換します。



**注意**

Connection サーバ内のディスクをデータを含むディスクと交換しないでください。交換前に同じサーバの同じ RAID に含まれていたディスクでも使用できません。



**注意**

この項の手順は、Connection サーバ内のハードディスク交換プロセスの一部です。Connection サーバ内のハードディスクを交換する場合は、この章で既出の該当タスク リストを参照してください。Connection が正しく機能しなくなる場合があります。



**警告**

オン/オフ スイッチのあるシステムで作業を始める場合は、はじめに電源スイッチをオフにし、電源コードのプラグを抜いてください。ステートメント 1



**警告**

シャーシを開ける前に、電話網電圧に接触しないように電話網ケーブルの接続を切断します。ステートメント 2



**警告**

この装置の設置および保守作業は、AS/NZS 3260 Clause 1.2.14.3 Service Personnel に定められている保守担当者が行う必要があります。ステートメント 88



**警告**

作業中は、カードの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。ステートメント 94



**警告**

この製品には安全カバーが不可欠です。安全カバーを設置していない状態で装置を操作しないでください。安全カバーが正しく設置されていない装置を扱うと、安全認可が無効になり、火災や電気による事故を引き起こすおそれがあります。ステートメント 117



警告

雷が発生しているときは、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。ステートメント 1001



警告

必ず設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004



警告

ラックに装置を取り付けたり、ラック内の装置の保守作業を行ったりする場合は、事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次の注意事項を守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックに他の装置も設置する場合は、最も重量のあるコンポーネントをラックの最下部に設置し、軽いものをラック上部に設置してください。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置したり、ラック内の装置の保守作業を行ってください。ステートメント 1006



警告

バッテリーが適正に交換されなかった場合、爆発の危険があります。製造元が推奨するものと同じまたは同等のバッテリーだけを使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。ステートメント 1015



警告

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。出入りが制限された場所とは、特殊なツール、ロックおよびキー、または他のセキュリティ手段を使用しないと入室できない場所を意味します。ステートメント 1017



警告

感電事故を防ぐため、Safety Extra-low Voltage (SELV; 安全超低電圧) 回路を Telephone-Network Voltage (TNV; 電話網電圧) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路、WAN ポートには TNV 回路が使用されています。LAN ポートおよび WAN ポートによっては、どちらも RJ-45 コネクタが使用されている場合があります。ケーブルを接続するときは注意してください。ステートメント 1021



警告

火災の危険性を抑えるため、No.26 AWG 以上の通信回線コードだけを使用してください。ステートメント 1023



警告

この装置はアース接続する必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024



警告

ブランクの前面プレートおよびカバー パネルには、3 つの重要な役割があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、他の装置への EMI の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の空気の流れを適切な状態に保つことです。必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーをスロットに正しく取り付けられた状態で、システムを運用してください。ステートメント 1029

**警告**

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030

**警告**

この製品を廃棄処分する際には、各国の法律および規制に従って取り扱ってください。ステートメント 1040

上記の安全上の警告の翻訳については、『*Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/regulatory/compliance/ucwarns.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/regulatory/compliance/ucwarns.html)) を参照してください。

### Connection 8.x サーバに交換用ハードディスクの取り付けるには

**ステップ 1** カバーを取り外します。

**ステップ 2** サーバのハードディスクをすべて交換します。

**注意**

Connection のインストールまたはアップグレードの一部としてハードディスクを交換する場合は、既存のハードディスクをすべて取り外し、それと同じ台数のハードディスクを取り付ける必要があります。台数が異なると、Connection のインストールまたはアップグレードは失敗します。

- a. サーバに設置されているハードディスクの現在の場所（ハードディスクとハードディスク スロットの対応関係を含む）を書き留めます。交換に失敗し、現在の構成に戻す必要が生じた場合に、既存のハードディスクを現在の場所に戻す必要があるためです。
- b. サーバからドライブトレイを取り外します。
- c. ドライブトレイから古いハードディスクを取り外します。
- d. 新しいハードディスクをドライブトレイに装着します。
- e. ステップ a. で書き留めた場所にドライブトレイを再度取り付けます。

**ステップ 3** カバーを再度取り付けます。